

一般質問

令和元年6月27日(木)の
1日間で行われました。

質問・答弁は質問者本人がまとめたものです。

●一般質問とは…

議員個人が市の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を市長などに求め、市が市民のために適切な市政運営を進めているかを議員がチェック、提案などをするものです。

質問▼道内の一部では、奨学生制度を設けている自治体もあるが、現状においては制度の創設は考えてない。しかしながら、国や北海道に対して支援を要請していく。
また、AIを活用した遠隔医療の充実を図る事も医師不足に対する方策の一つと考える。

答弁▼現状では整備する考えはないが、埋葬方法の多様化に伴い、将来的に必要が生じた際には、住民のニーズを捉え、調査研究していく。

質問▼不足する医師の確保のため、医学生に対する奨学生制度を創設する考えはあるか問う。

答弁▼大滝区において「樹木葬墓地」の設置について調査研究する考えはあるか問う。

質問▼防災ハンドブック、災害対応マニュアルの策定について問う。



「樹木葬墓地」の設置について

令和みらい
阿戸孝之

答弁▼令和元年8月号の伊達市広報に8ページで、「自助」を重点とした内容を掲載する予定である。

災害対応マニュアルについては、これまでの経験や課題・教訓を次世代につなげる為に各災害に対応したマニュアルの策定を進めていく。



大滝区での樹木葬墓地の勉強会

合葬墓地の設置について



質問▼合葬墓地の設置について本市における今後の方向性を問う。

答弁▼家族単位ではない複数墓地について、昨年度より道内他市の設置状況や課題の洗い出しを実施してきた。市民のニーズも増えていると認識している。

本年度も継続調査し、先進地の視察や関係者の意見聴取、本市における各種課題の整理を行い合葬墓地整備の方向性を決定する考え方である。

質問▼伊達紋別駅自由通路の利用率とエレベーターの利用時間を周知すべきではないかを問う。



24時間利用できる自由通路のエレベーター

性の向上が図られた」と市民の声も聞かれ利用率も利用開始から一年間で約0・8%の上昇が見られた。更に自由通路側のエレベーターは、避難通路としても活用できるため24時間稼動している。しかし、JR側のエレベーターが19時30分で止まるため、自由通路側のエレベーターも同じく利用できないと勘違いする人もいるのではないか、利用時間等をわかりやすく掲示し、安心して利用できるよう周知に努める。

質問▼伊達市水道ビジョンの見通しよりも、給水人口の減少また、節水型社会への移行により、水需要の減少が急速に進んでいる。
今後の水道事業運営の考え方、対策について問う。

答弁▼人口減少が思ったよりも進んでおり、現状の大きな課題。水道ビジョンの修正を踏まえ、財政的見通しを裏付けた計画をし、今年度から10年間の経営戦略を策定していく。

質問▼今後の老朽管の対策について問う。

答弁▼危険とされている40年以上の管が全体の13%残つており、早急に取り組まなければならぬ最重要課題である。



長和配水池

今後、計画的に取り組み、順次、耐震管に替えていく。

質問▼今後の財政状況、水道料金について問う。

答弁▼大口需要者の存在により良好な状態を維持しており経営的に安定している為、このままの状態を維持できれば、今後20年間は水道料金値上げをしなくてもよいと考えている。

伊達市水道事業について



質問▼合葬墓地の設置について本市における今後の方向性を問う。

質問▼伊達市水道ビジョンの見通しよりも、給水人口の減少また、節水型社会への移行により、水需要の減少が急速に進んでいる。
今後の水道事業運営の考え方、対策について問う。

答弁▼人口減少が思ったよりも進んでおり、現状の大きな課題。水道ビジョンの修正を踏まえ、財政的見通しを裏付けた計画をし、今年度から10年間の経営戦略を策定していく。

質問▼今後の老朽管の対策について問う。

答弁▼「買い物や通院などが楽になり、特に冬期間の安全



国保の子ども均等割軽減を

質問▼さて歴史の杜食育センターの健康増進事業等の重点項目に regard 現段階でどう評価しているか。

答弁▼Eスープーン、キッチン

スタジオを活用した料理教室など高く評価しているが、健康増進や食育推進などを特定目的会社に働きかけていく。

質問▼さて歴史文化ミュージアムオープン後の評価、市民の意見等について。

答弁▼オープンから5月末で来館者が6695人、武士の歴史だけでなく縄文文化、アイヌ文化の歴史について高評価である。



さて歴史文化ミュージアム

質問▼国保の子ども均等割保険税を軽減している自治体がある。

子ども子育ての観点から、当市も検討するべきでは。

答弁▼本市独自の軽減措置を導入する考えはない。全国市長会を通じ国に対し軽減措置を要望していく。

- 【市議会はどんな仕事をするところなの?】
- 市長から提案されたきまり(条例)や市のお金の使い方の案(予算)を議論して決めます。また、正しく使われ、実行されているかを調べます。

- 広く市民の皆さんの中を聞き、政策の立案や提言を行います。必要があれば、きまり(条例)を作ったり修正をします。

- 国や北海道などに対して「こうしてほしい」という意見を出します。



豆知識



意見書

※意見書とは…

- ①各団体から提出された意見書案は会派ごとに審査
- ②議会運営委員会で協議
- ③3分の2以上の会派の同意により本会議に提出
- ④提出された意見書案が過半数の議員の賛成により可決
- ⑤伊達市議会の機関意思として国・道の各機関へ提出
※国の機関とは⇒内閣総理大臣、衆議院議長・参議院議長、各担当大臣など

議会運営委員会を6月28日開催し、意見書の取り扱いについて審査を行った。各団体から提出された意見書は12件で、審査の結果は下記のとおり。
※議決した意見書の詳しい内容については伊達市HPをご覧ください。

《議会運営委員会での賛否一覧》

上程の可否	件名	提出依頼者	令和まい	自民クラブ	公明党
○	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	全国過疎地域自立促進連盟北海道支部	○	○	○
×	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書	全国青年司法書士協議会	×	×	×
○	2019年度北海道最低賃金改正等に関する意見書	連合北海道伊達地区連合会	○	○	○
○	2020年度地方財政の充実・強化を求める意見書		○	○	○
○	「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書		×	○	○
○	子どもに係る国民健康保険均等割保険料(税)の負担軽減を求める意見書		×	○	○
○	会計年度任用職員の処遇改善と雇用安定及び財源確保に関する意見書	日本共産党伊達市委員会	○	○	○
○	放課後児童クラブの職員配置基準等の回復及び放課後児童支援員の処遇改善を求める意見書		○	○	○
×	消費税の8%から10%への増税中止を求める意見書		×	×	×
○	児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書		○	○	○
○	信頼される政府統計を目指してさらなる統計改革を求める意見書	公明党伊達支部	○	○	○
○	「労働者協同組合法案」の早期制定を求める意見書		×	○	○

○⇒可 ×⇒否